

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成29年8月23日
【事業年度】	自 平成28年1月1日 至 平成28年12月31日
【会社名】	ビー・エヌ・ピー・パリバ (BNP PARIBAS)
【代表者の役職氏名】	最高財務責任者 ラルス・マシュニル (Lars Machenil, Chief Financial Officer)
【本店の所在の場所】	フランス国パリ市9区イタリア通り16番地 (16, boulevard des Italiens, 75009 Paris, France)
【代理人の氏名又は名称】	弁護士 柴 田 弘 典
【代理人の住所又は所在地】	東京都港区元赤坂一丁目2番7号 赤坂Kタワー アンダーソン・毛利・友常法律事務所
【電話番号】	03-6888-1182
【事務連絡者氏名】	弁護士 舩 越 輝 同 早 川 晃 司 同 大 野 孟 彬
【連絡場所】	東京都港区元赤坂一丁目2番7号 赤坂Kタワー アンダーソン・毛利・友常法律事務所
【電話番号】	03-6888-1197 03-6894-2155 03-6894-5041
【縦覧に供する場所】	ビー・エヌ・ピー・パリバ銀行東京支店 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 グラントウキョウ ノースタワー

1【提出理由】

平成29年6月9日付で提出した平成28年12月31日に終了した事業年度に係る有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、本有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

訂正を要する箇所および訂正した箇所には下線を付しております（なお、平成29年6月9日付で提出した有価証券報告書において付されていた下線は、訂正した箇所を明示するため、本有価証券報告書の訂正報告書においては表示しておりません。）。

第一部 【企業情報】

第3 【事業の状況】

1 【業績等の概要】

(A) 2016年度業績

(1) 連結業績

増益および堅調な資本創出

< 訂正前 >

(前略)

親会社株主帰属当期純利益は7,702百万ユーロとなり、2015年度と比較して15.1%増加した。一時項目(注7)を除くと、親会社株主帰属当期純利益は合計7,802百万ユーロ(6.3%の増加)となった。株主資本利益率は、9.3%(一時項目を除くと9.4%)であった。有形資産利益率は、11.1%(一時項目を除くと11.2%)であった。1株当たり当期純利益は、6.0ユーロであった。

(後略)

< 訂正後 >

(前略)

親会社株主帰属当期純利益は7,702百万ユーロとなり、2015年度と比較して15.1%増加した。一時項目(注7)を除くと、親会社株主帰属当期純利益は合計7,802百万ユーロ(6.3%の増加)となった。株主資本利益率は、9.3%(一時項目を除くと9.4%)であった。有形自己資本利益率は、11.1%(一時項目を除くと11.2%)であった。1株当たり当期純利益は、6.0ユーロであった。

(後略)

3 【対処すべき課題】

(1) 資本管理および自己資本

< 訂正前 >

(前略)

資本要件およびリスク加重資産

(中略)

・海外リテール・バンキング部門およびBNLバンカ・コメルシアールにおけるリスク・パラメーターの改善ならびに主にコーポレート・バンキング部門のポートフォリオの成熟効果に主に起因する、信用リスクの下落による影響である14十億ユーロの減少

(中略)

自己資本および資本計画

(中略)

自己資本

(中略)

保険事業に適用される要件

(中略)

・第3の柱：ソルベンシー公益および当局への開示の基礎とし、保険事業の透明性を改善すること

(中略)

レバレッジ比率

(中略)

レバレッジ比率は、プルデンシャル・アプローチに基づき評価された、バランスシート資産およびオフバランスシートのコミットメントを使用して計算されたエクスポージャーにティア1を除いて計算される。デリバティブおよび買戻契約も調整されている。

(後略)

< 訂正後 >

(前略)

資本要件およびリスク加重資産

(中略)

・海外リテール・バンキング部門およびBNLバンカ・コメルシアールにおけるリスク・パラメーターの改善ならびに主にコーポレート・バンキング部門のポートフォリオの満期効果に主に起因する、信用リスクの下落による影響である14十億ユーロの減少

(中略)

自己資本および資本計画

(中略)

自己資本

(中略)

保険事業に適用される要件

(中略)

・第3の柱：ソルベンシーを公益および当局への開示の基礎とし、保険事業の透明性を改善すること

(中略)

レバレッジ比率

(中略)

レバレッジ比率は、プルデンシャル・アプローチに基づき評価された、バランスシート資産およびオフバランスシートのコミットメントを使用して計算されたエクスポージャーでティア1を除いて計算される。デリバティブおよび買戻契約も調整されている。

(後略)

4 【事業等のリスク】

(3) 信用リスク

< 訂正前 >

(前略)

リスク加重資産

(中略)

信用リスク加重資産は、2016年度において9十億ユーロ増加した。量に対するプラス効果の23十億ユーロは、事業活動に関連したものであり、うち16十億ユーロはIRBアプローチに基づき運営している事業体のものである。パラメーターに対する効果は、海外リテール・バンキング事業およびBNLバンカ・コメルシアーレにおけるリスク・パラメーターの改善ならびに主にコーポレート・バンキング・ポートフォリオにおける成熟効果によるものである。マイナス2十億ユーロの連結範囲に対する負の効果は、主としてSREIおよびアンシニエ・ドゥ・ボーフォールの売却によるものである。方針変更は、とりわけ企業格付モデルの更新に伴い、リスク加重資産における5十億ユーロの増加をもたらした。その他の効果は、証券化プログラムの実施に伴うリスク加重資産における3十億ユーロの減少を含む。通貨価値による影響は、米ドル高ならびに英ポンドおよびトルコリラの下落により、当年度中に大部分が相殺された。

(中略)

信用リスク：内部格付に基づくアプローチ（IRBアプローチ）

(中略)

主要なモデル：デフォルト確率、債務不履行による損失およびクレジット換算係数／債務不履行エクスポージャー

(中略)

モデル化された パラメーター	ポートフォリオ	モデル数	モデルおよび手法	債務不履行 年数 / 損失データ	バーゼル 資産クラス
-------------------	---------	------	----------	------------------------	---------------

債務不履行による損失	大手企業	2	定量モデル	10年超	法人
	フランスにおけるリテール以外の不動産	1	定量モデル	10年超	法人
	エネルギーおよびコモディティ、融資取引	1	取引構成に基づく定量モデルおよび定性モデル	10年超	法人
	特別融資	4	取引構成に基づく定量モデルおよび定性モデル	10年超	法人
	ソブリン	1	定量モデル	10年超	ソブリン
	銀行	1	定量モデル	10年超	銀行
	フランスのリテール・バンク、個人向け不動産ローン	1	セグメンテーションモデル、債務不履行による損失はデフォルトおよび損失に関する長期的な内部データに基づき調整済、ブルデンシャル・マージンには過去の経済危機からの悪影響を含む	10年超	住宅ローン
	フランスのリテール・バンク、投資、中小企業向け不動産ローン	1	重回帰モデル、債務不履行による損失はデフォルトおよび損失に関する長期的な内部データに基づき調整済、ブルデンシャル・マージンには過去の経済危機からの悪影響を含む	10年超	リテールおよび中小企業
	パーソナル・ファイナンス、リボルビング、個人ローン（フランス、スペイン、ドイツ、ハンガリーおよびチェコ共和国）	各国につき1	分類層モデル、債務不履行による損失はデフォルトおよび損失に関する長期的な内部データ（適切と判断される場合には、悪影響を含む。）に基づき調整済	10年超	適格リボルビング型リテール向けエクスポージャーおよびその他のリテール
	ベルギーのリテール・バンク、住宅ローン	1	回帰モデルに基づく損失確率を含む定量モデル	9年	住宅ローンおよびその他のリテール
	ベルギーのリテール・バンク、パブリック・バンキング	1	回帰モデルに基づく損失確率を含む定量モデル、担保に対するヘアカットには過去のデフォルトに関する内部データに基づきベンチマークを実施	9年	銀行、中小企業
	ベルギーのリテール・バンク、商業銀行（中小企業／中規模企業）およびバンク・デ・ゾントルブルヌール（小規模企業、自営業、および自由業）	1	回帰モデルに基づく損失確率を含む定量モデル、担保に対するヘアカットには過去のデフォルトに関する内部データに基づきベンチマークを実施	9年	法人、法人および中小企業向けリテール、住宅ローンおよびその他のリテール
	バンカ・ナツィオナーレ・デル・ラヴォーロ（中規模企業）	1	回収ステータス、ファシリティおよび担保のタイプに基づく定量モデル、モデルはデフォルトおよび損失に関する長期的な内部データに基づき調整済	8年	中規模企業
	バンカ・ナツィオナーレ・デル・ラヴォーロ（零細企業および小規模企業の顧客）	1	回収ステータス、ファシリティおよび担保のタイプに基づく定量モデル、モデルはデフォルトおよび損失に関する長期的な内部データに基づき調整済	10年	中小企業向けリテール（零細企業および小規模企業の顧客）
	バンカ・ナツィオナーレ・デル・ラヴォーロ（個人顧客）	1	回収ステータス、ファシリティおよび担保のタイプに基づく定量モデル、モデルはデフォルトおよび損失に関する長期的な内部データに基づき調整済	10年	個人

（後略）

<訂正後>

（前略）

リスク加重資産

（中略）

信用リスク加重資産は、2016年度において九十億ユーロ増加した。量に対するプラス効果の二十億ユーロは、事業活動に関連したものであり、うち十億ユーロはIRBアプローチに基づき運営している事業体のものである。パラメーターに対する効果は、海外リテール・バンキング事業およびBNLバンカ・コメルシアレにおけるリスク・パラメーターの改善ならびに主にコーポレート・バンキング・ポートフォリオにおける満期効果によるものである。マイナス二十億ユーロの連結範囲に対する負の効果は、主としてSREIおよびアンシニエ・ドゥ・ボーフォールの売却によるものである。方針変更は、とりわけ企業格付モデルの更新に伴い、リスク加重資産における五十億ユーロの増加をもたらした。その他の効果は、証券化プログラムの実施に伴うリスク加重資産における三十億ユーロの減少を含む。通貨価値による影響は、米ドル高ならびに英ポンドおよびトルコリラの下落により、当年度中に大部分が相殺された。

(中略)

信用リスク：内部格付に基づくアプローチ（IRBアプローチ）

(中略)

主要なモデル：デフォルト確率、債務不履行による損失およびクレジット換算係数／債務不履行エクスポージャー

(中略)

モデル化されたパラメーター	ポートフォリオ	モデル数	モデルおよび手法	債務不履行年数／損失データ	パーゼル資産クラス
債務不履行による損失	大手企業	2	定量モデル	10年超	法人
	フランスにおけるリテール以外の不動産	1	定量モデル	10年超	法人
	エネルギーおよびコモディティ、融資取引	1	取引構成に基づく定量モデルおよび定性モデル	10年超	法人
	特別融資	4	取引構成に基づく定量モデルおよび定性モデル	10年超	法人
	ソブリン	1	定量モデル	10年超	ソブリン
	銀行	1	定量モデル	10年超	銀行
	フランスのリテール・バンク、個人向け不動産ローン	1	セグメンテーションモデル、債務不履行による損失はデフォルトおよび損失に関する長期的な内部データに基づき調整済、ブルデンシャル・マージンには過去の経済危機からの悪影響を含む	10年超	住宅ローン
	フランスのリテール・バンク、投資、中小企業向け不動産ローン	1	重回帰モデル、債務不履行による損失はデフォルトおよび損失に関する長期的な内部データに基づき調整済、ブルデンシャル・マージンには過去の経済危機からの悪影響を含む	10年超	リテールおよび中小企業
	パーソナル・ファイナンス、リボルビング、個人ローン（フランス、スペイン、ドイツ、ハンガリーおよびチェコ共和国）	各国につき1	分類層モデル、債務不履行による損失はデフォルトおよび損失に関する長期的な内部データ（適切と判断される場合には、悪影響を含む。）に基づき調整済	10年超	適格リボルビング型リテール向けエクスポージャーおよびその他のリテール
	ベルギーのリテール・バンク、住宅ローン	1	重回帰モデルに基づく損失確率を含む定量モデル	9年	住宅ローンおよびその他のリテール
	ベルギーのリテール・バンク、パブリック・バンキング	1	重回帰モデルに基づく損失確率を含む定量モデル、担保に対するヘアカットには過去のデフォルトに関する内部データに基づきベンチマークを実施	9年	銀行、ソブリン、中小企業
	ベルギーのリテール・バンク、商業銀行（中小企業／中規模企業）およびバンク・デ・ゾントルブルヌール（小規模企業、自営業、および自由業）	1	重回帰モデルに基づく損失確率を含む定量モデル、担保に対するヘアカットには過去のデフォルトに関する内部データに基づきベンチマークを実施	9年	法人、法人および中小企業向けリテール、住宅ローンおよびその他のリテール
	バンカ・ナツツィオナレ・デル・ラヴォーロ（中規模企業）	1	回収ステータス、ファシリティおよび担保のタイプに基づく定量モデル、モデルはデフォルトおよび損失に関する長期的な内部データに基づき調整済	8年	中規模企業
	バンカ・ナツツィオナレ・デル・ラヴォーロ（零細企業および小規模企業の顧客）	1	回収ステータス、ファシリティおよび担保のタイプに基づく定量モデル、モデルはデフォルトおよび損失に関する長期的な内部データに基づき調整済	10年	中小企業向けリテール（零細企業および小規模企業の顧客）
	バンカ・ナツツィオナレ・デル・ラヴォーロ（個人顧客）	1	回収ステータス、ファシリティおよび担保のタイプに基づく定量モデル、モデルはデフォルトおよび損失に関する長期的な内部データに基づき調整済	10年	個人

(後略)

(4) 取引先信用リスク

< 訂正前 >

(前略)

取引先信用リスクの測定

(中略)

ストレス・テストおよび誤方向リスク

(中略)

BNPパリバによる一般的な誤方向リスク (GWR) の監視および解析は、取引先の信用度の質と逆相関するリスク要因を強調するストレス・テストを通じて行われる。

(中略)

債務不履行エクスポージャー

(中略)

EU CCR 3 - 標準的アプローチによるデフォルト時における取引先信用リスク・エクスポージャー (CCPおよびCVAチャージを除く。)

(中略)

(単位： 百万ユーロ)	2016年12月31日現在								リスク 加重資産
	債務不履行エクスポージャー								
リスク・ウェイト	0%	20%	35%	50%	75%	100%	150%	合計	
中央政府または 中央銀行				4		7		11	9
金融機関		473		62		24		559	149
法人				0		927	20	948	958
リテール					11			11	8
合計	-	473	-	66	11	958	20	1,528	1,124

(単位： 百万ユーロ)	2015年12月31日現在 見積額								リスク 加重資産
	債務不履行エクスポージャー								
リスク・ウェイト	0%	20%	35%	50%	75%	100%	150%	合計	
中央政府または 中央銀行				0		1		1	1
金融機関		486		39		29		554	146
法人						769	25	795	807
リテール					8			8	6
合計	-	486	-	39	8	799	25	1,358	960

(後略)

< 訂正後 >

(前略)

取引先信用リスクの測定

(中略)

ストレス・テストおよび誤方向リスク

(中略)

BNPパリバによる一般的な誤方向リスク (GWR) の監視および解析は、取引先の信用度の質と逆相関するリスク要因を強調するストレス・テストを通じて行われる。これは、トップダウン・アプローチとボトムアップ・アプローチを組み合わせている。

(中略)

債務不履行エクスポージャー

(中略)

EU CCR 3 - 標準的アプローチによるデフォルト時における取引先信用リスク・エクスポージャー (CCPおよびCVAチャージを除く。)

(中略)

	2016年12月31日現在							
--	---------------	--	--	--	--	--	--	--

(単位： 百万ユーロ)	債務不履行エクスポージャー								リスク 加重資産
	0%	20%	35%	50%	75%	100%	150%	合計	
リスク・ウェイト									
中央政府または 中央銀行				4		7		11	9
法人		473		62		24		559	149
金融機関				0		927	20	948	958
リテール					11			11	8
合計	-	473	-	66	11	958	20	1,528	1,124

(単位： 百万ユーロ)	2015年12月31日現在 見積額								リスク 加重資産
	債務不履行エクスポージャー								
リスク・ウェイト	0%	20%	35%	50%	75%	100%	150%	合計	
中央政府または 中央銀行				0		1		1	1
法人		486		39		29		554	146
金融機関						769	25	795	807
リテール					8			8	6
合計	-	486	-	39	8	799	25	1,358	960

(後略)

(6) 流動性リスク

流動性リスクの管理および監督

ホールセール資金および流動性準備金における監視指標

規制の変更にに基づくホールセール資金の動向

< 訂正前 >

(前略)

2015年8月の政令によりフランス法に導入された銀行再生および破綻処理に関する指令（BRRD）の実施に基づき、またシステム上重要なフランス金融機関のTLAC要件の遵守を可能にするため、サパン2法が2016年12月10日付の官報において公表された。同法第151条は、現行の優先債の前であって劣後債の後に損失を吸収する非上位優先債の新たなカテゴリーを設定し、清算または破綻処理下にある金融機関の債権者の格付を修正している。

(後略)

< 訂正後 >

(前略)

2015年8月の政令によりフランス法に導入された銀行再生および破綻処理に関する指令（BRRD）の実施に基づき、またシステム上重要なフランス金融機関のTLAC要件の遵守を可能にするため、サパン2法が2016年12月10日付の官報において公表された。同法第151条は、現行の優先債の前であって劣後債の後に損失を吸収する非上位優先債の新たなカテゴリーを設定し、清算または破綻処理下にある金融機関の債権者の順位を修正している。

(後略)

(8) 保険リスク

BNPパリバ・カーディフのリスク管理システム

<訂正前>

(前略)

- ・金融市場の不利な動向により生じる財務損失リスクである、市場リスク。これらの不利な動向はとりわけ、価格（外国為替レート、債券価格、資本および商品価格、デリバティブ価格、不動産価格等）に反映され、利率、信用力格差、不安定性および相関関係における変動に起因する。

(後略)

<訂正後>

(前略)

- ・金融市場の不利な動向により生じる財務損失リスクである、市場リスク。これらの不利な動向はとりわけ、価格（外国為替レート、債券価格、株価および商品価格、デリバティブ価格、不動産価格等）に反映され、利率、信用力格差、不安定性および相関関係における変動に起因する。

(後略)

(9) ソブリンのエクスポージャー（監査済）

<訂正前>

(前略)

ソブリン債のエクスポージャーは、主として証券で構成される。当社グループは、流動性管理プロセスの一環としてソブリン証券を保有する。流動性管理は、とりわけ、中央銀行によるリファイナンスの担保として適格な有価証券を保有することを基盤とし、リスク・レベルが低いとされる政府により発行された格付の高い負債証券の大部分の保有を含む。さらに、資産および負債の管理ならびに構造的な金利リスク管理方針の一環として、当社グループはまた、そのヘッジ戦略に寄与する金利の特性を有するソブリンの負債性金融商品を含む資産のポートフォリオを保有している。加えて、当社グループは、多くの国々においてソブリンの負債証券の主要なディーラーであり、当該負債証券の一時的な長期および短期のトレーディング・ポジション（これらのポジションの一部は、デリバティブを用いてヘッジしている。）を建てている。

(後略)

<訂正後>

(前略)

ソブリン債のエクスポージャーは、主として証券で構成される。当社グループは、流動性管理プロセスの一環としてソブリン証券を保有する。流動性管理は、とりわけ、中央銀行によるリファイナンスの担保として適格な有価証券を保有することを基盤とし、リスク・レベルが低いとされる政府により発行された格付の高い負債証券の大部分の保有を含む。さらに、資産および負債の管理ならびに構造的な金利リスク管理方針の一環として、当社グループはまた、そのヘッジ戦略に寄与する金利の特性を有するソブリンの負債性金融商品を含む資産のポートフォリオを保有している。加えて、当社グループは、多くの国々においてソブリンの負債証券の主要なディーラーであり、当該負債証券の一時的な保有および空売りのトレーディング・ポジション（これらのポジションの一部は、デリバティブを用いてヘッジしている。）を建てている。

(後略)

7 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

A. 各コア事業毎の事業の状況についての分析

(C) ホールセールバンキング事業

コーポレート・バンキング

<訂正前>

(前略)

南北アメリカにおいて、コーポレート・バンキングは、ファイナンス・ソリューションズ・アメリカ、アドバイザリー・アメリカおよびクレジット・ポートフォリオ・マネジメントの3つのプラットフォームにより構成される。ファイナンス・ソリューションズ・アメリカは、コーポレート・デット・オリジネーション、ストラクチャード・デット・オリジネーションおよびトレード・トレジャリー・ソリューションズのチームを通じて行う他人資本の組成、ストラクチャーおよび実行の戦略的パートナーとしての役割を果たしている。アドバイザリー・アメリカは、M&Aならびに株式発行市場および株式売市場における業務に関連したサービスを提供している。ニューヨーク、ヒューストン、トロント、ボゴタ、サンティアゴ・デ・チレ、メキシコシティおよびサンパウロを拠点としたコーポレート・カバレッジ・チームが、当行の商品を提供している。

(後略)

<訂正後>

(前略)

南北アメリカにおいて、コーポレート・バンキングは、ファイナンス・ソリューションズ・アメリカ、アドバイザリー・アメリカおよびクレジット・ポートフォリオ・マネジメントの3つのプラットフォームにより構成される。ファイナンス・ソリューションズ・アメリカは、コーポレート・デット・オリジネーション、ストラクチャード・デット・オリジネーションおよびトレード・トレジャリー・ソリューションズのチームを通じて行う債券の組成、ストラクチャーおよび実行の戦略的パートナーとしての役割を果たしている。アドバイザリー・アメリカは、M&Aならびに株式発行市場および株式売市場における業務に関連したサービスを提供している。ニューヨーク、ヒューストン、トロント、ボゴタ、サンティアゴ・デ・チレ、メキシコシティおよびサンパウロを拠点としたコーポレート・カバレッジ・チームが、当行の商品を提供している。

(後略)